

笑顔あふれる学校

Smiling School 勝央中



勝央中学校 HP はこちら→ <http://gakuji.town.shoo.lg.jp/shoo-mh/>

勝央中学校だより No.11

令和5年12月22日(金)

勝央町立勝央中学校長

浦島 毅

TEL: 38-3148

冬休みを迎える前に 今伝えたいこと (終業式式辞より抜粋)

今年、岡山マラソンに3回目の挑戦をした。4年前の初マラソンはぎりぎり完走(勝央中の生徒の応援をエネルギーに)、昨年は25kmで規定時間をクリアできず関門閉鎖でリタイアだった。原因は、練習ができていないこともあり、弱気で「10kmくらいまで行ければ・・・、参加することに意義がある・・・」と自分に言い聞かせての出場だった。つまり逃げ道を持つスタート、当然の結果だった。今年は、出場すると決まったら、「完走する」から逆算して、生活をしていた。体調もよかったので2週間前から坂道などで負荷をかけると、数日後ひざに激痛がはしる・・・。その痛みはなかなか治まらず、前々日の金曜日まで続き、棄権が頭をよぎる。しかし心に引っかかることは、生徒総会でみなさんに伝えた「〇〇はできないと決めつけていないか。」「諦めずに頑張ろう」などと言ったこと。自分が簡単に諦めたら説得力ないなという思いだった。前日土曜日の昼前に痛みはやや治まり、走れると自分に言い聞かす。ひざが痛み出すのは時間の問題だったが、出場に迷いはなかった。念のため当日朝は、大会ボランティアのケアステーションでひざのテーピングをしてもらいたいぶんになる。普段の練習でも3kmくらい走ると少し歩いてしまっていたが、沿道の応援・同じ目標を持つ集団の力・テーピングの効果で15kmくらいまでは順調に進む、15kmを過ぎたくらいから徐々にひざが痛む。ひざをかばうことによりふくらはぎ・ももも痛む。5時間30分でゴールを目指すペースメーカーに追いつかれるまでは無理をせずに歩いたが、20km地点で、早くも追いつかれる。ここから遅れると制限時間の6時間までにゴールにたどり着かないと感じ、歩いたり走ったりしながらペースメーカーについて行く。各関門での閉鎖までの余裕時間は20分ほどだった。ラスト7km、旭川の河川敷を走る。声援は頑張れ頑張れ・・・。ただ身体も悲鳴を上げ、頑張りがすぎると体中がつかって、終了となりそうだった。余裕時間の20分を上手に使い、無理をせずと思うが、至近距離からの声援により頑張るしかなく、歩いたり走ったりを繰り返す。(沿道の頑張れさえ重く感じる。)ラスト3kmまでたどり着く、ゴールができること確信をした途端、脚に限界がきて全く走れなくなる。自分が弱気になり、前向きに頑張りたいときに聴く曲「GreeeenのBelieve」を聴きながら、残り3kmとことん早歩きをした。いよいよ競技場へ 関門封鎖まであと10分、何とか時間内に完走できた。絶対完走すると決めていた。そのために給水はしたが、給食は一切とらなかった。途中しんどくなったときに、沿道の声援はもちろん、みなさんが、目標を達成したときの笑顔、叶わなかったときの涙、そして今頑張っている姿を思い浮かべると不思議と自分も頑張ることができた。完走できなかったとしても頑張ったことは変わらないが、完走することにより、違う景色を観ることができたような気がする。1分、1秒遅れてもこの思いは、感じることはできなかったかもしれない。「失敗」も続けて乗り越えれば、「経験」に変わるといえるが、みなさんにはその経験はあまりしてほしくない。

受験に向かう3年生、部活動など自分の夢や目標に向けて頑張っているすべての君へ。

【今回のマラソンから学んだこと】 (「GreeeenのBelieve」は、ぜひ聴いてみて下さい。スイッチが入ります。)

- ① 目標をしっかり立てることの大切さ。(ゴールから逆算して粘ること、達成できると信じて！)
 - ② 同じ目標に向かって走る(頑張る)人がいると自然と自分も頑張れる。(受験は団体戦、全員がゴールするまで！)
 - ③ ギリギリではなく、少し余裕を持ってタイムマネジメントをすること、直前に何が起こるか分からない。
 - ④ 応援(声援)は、時に重く感じるが、時が過ぎれば感謝しかない。(頼れるものは何でもエネルギーに！)
 - ⑤ プロの仕事はすごい。(ひざのテーピングだけでなくこのあと内転筋が痛むことを予想して予防のテーピング。)
- ※2年生に職場体験出発式で話。「頼まれごとは試されごと」「この人に仕事を頼みたいと思われてこそ本物」
※感性を大切に、くじけそうになっても、頑張ろうと思ったときがスタート。常に今から出来ることをゴールから逆算してやりきろう。1問に泣く姿は見たくない。全員が15の春を笑顔で迎えるために一丸となり応援する。よき冬休みを。

【避難訓練】

11月29日、今回は、緊急避難速報による、地震を想定した避難訓練を行いました。今回は、予告なし、担任以外の授業で、グラウンドへ避難しました。すべてのクラスの避難完了まで6分かかりましたが、落ち着いて避難をすることができました。南海トラフ地震は、30年以内に発生する確率が80%とも言われています。想定外のことも起きるかも知れません。自分や周りの人の命をどう守っていくのかなど考えるよい機会になりました。

【美術出前授業（2年）】

11月27日、勝央美術文学館学芸員の野村英子様をお迎えし鑑賞の授業を行いました。葛飾北斎 富岳三十六景「神奈川沖浪裏」の作品から、一枚の画にもいろいろな見方があることなどを学びました。

【町一貫教育研究授業】

11月22日、町一貫教育授業研究会を行いました。今年は、勝央中の順番で、2年生の社会（1組）、家庭科（2組）、英語（3組）の授業を観ていただきました。ICT機器を活用しながら、それぞれの授業の目標達成に向けて、主体的にそして協働的に課題に取り組んでいました。小学校や保育園の先生もみなさんの頑張る姿に感心し、たくさんの元気をもらったと喜んでくれました。

【環境ボランティア】

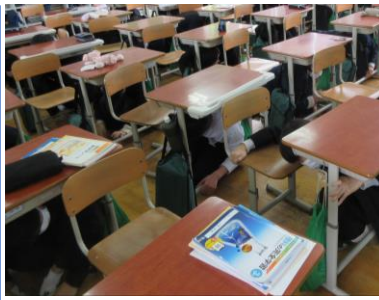
11月30日、翌日の粗大ゴミ搬出の準備を、1、2年生が、部活動単位で参加し協力してくれました。廃棄用の机やイスなどを倉庫やトラックまで運んでくれました。気持ちよくテキパキと行動する姿に元気をもらいました。ありがとう。

【球技会(3年)】

12月13日、3年生は球技大会を行いました。種目は男子サッカー、女子バスケットボールでした。2学期の締めくくりと入試に向けて団結力を高める心地よい時間となりました。

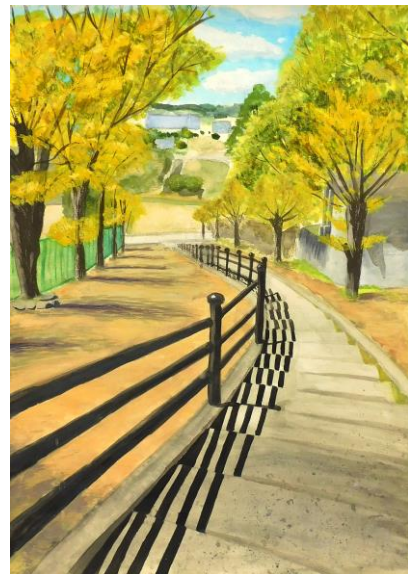
【安全・健康教育】

学期末に入り、全学年で非行防止教室、2年生で薬物乱用防止教室を行いました。SNS等によるトラブル、ついノリでしたことが取り返しのつかないことになることや、薬物についても、好奇心からスタートしたことが人生を狂わす話もありました。冬休みを前に落ち着いた生活することの大切さを学びました。

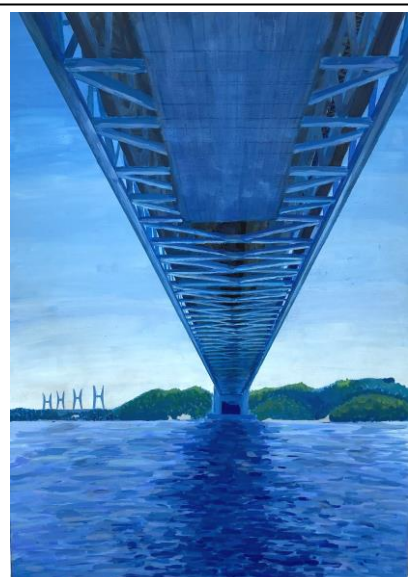


**【岡山県中学校総合文化祭、
岡山県児童・生徒凶画作品展】**

12月5日～10日、岡山市で2つの会の美術作品の展示会が行われました。県中学校総合文化祭には、創造文化部より、白澤七佳さん（1年）、川上希和さん（1年）の作品が展示されていました。（白澤さんの作品は、教科書会社の方の目にとまり、「光村ポケット・生徒作品ギャラリー ART BY」で公開されます。）また、岡山県児童・生徒凶画作品展には、特賞の福井心絆さん（3年）の作品が展示されていました。勝央町の良さを存分に表現した心温まる作品でした。（特選以上は、17664点応募のうち210点と狭き門でした。）



「8月の通学路」福井心絆・「スタートの日の階段」白澤七佳



「地区の夏まつり」百田美優・「架け橋のたもとから」白澤七佳



第13回岡山県児童生徒絵画展 勝田郡審査会 受賞者名簿

No	学年	氏名	作品名	備考欄
1	1	赤堀 袖花	勝間田駅	佳作
2	1	泉 ひより	伊能忠敬、降り立った地	佳作
3	1	高務 光友菜	7月天神祭 勝間田神社	佳作
4	1	白澤 七佳	スタートの日の階段	準特選
5	1	西元 那歩	通り道	佳作
6	1	能勢 琴音	岡神社の鳥居	佳作
7	1	山田 千莉	日吉神社	佳作
8	1	高田 悠愛	勝間田神社	佳作
9	1	水島 椰月	緑地公園 サッカー場	佳作
10	2	大谷 俊太郎	黒土の仲間	佳作
11	2	西元 ひより	桃	佳作
12	2	野上 諒人	天神祭り	佳作
13	2	早瀬 莓香	お供え物の葡萄	佳作
14	2	井澤 芽咲	家庭菜園	佳作
15	2	東 愛深	7年間の思い出	佳作
16	2	植月 丈一郎	日吉神社	準特選
17	2	大美 祐太	勝央町の自慢	佳作
18	2	竹久 桃香	無人販売	準特選
19	2	宮野 繪	窓から見た景色	佳作
20	3	佐古 明日香	石畳の錦鯉	佳作
21	3	竹内 朱莉	文化ホール	佳作
22	3	久保 幸斉	長尾山から	佳作
23	3	高務 日菜乃	天神祭りのフィナーレ	佳作
24	3	福井 心絆	8月の通学路（出雲街道）	特選
25	3	安東 綾乃	姫新線	佳作
26	3	太田 樹生	角土俵	佳作
27	3	丸尾 彩心	養徳館	佳作
28	3	百田 美優	地区の夏まつり	準特選

「放課後でのひみつの会話」川上希和(上)・「日吉神社」植月丈一郎(中)・「無人販売」竹久桃香(下)

【ブレ植樹祭】

12月4日、来年度岡山県で開催される全国植樹祭に向けて、今年は、県内各地でブレ植樹祭が行われています。勝央中も美作東備森林組合さんのご協力をいただき、町花のつつじを植えました。標柱は生徒会長の宮野さんが書いてくれました。この取組を通して、木育や森林の役割についても資料から学ぶことができました。緑や自然を大切に思う気持ちが地球環境の維持につながっていきます。

【吹奏楽 アンサンブルコンテスト】

12月26日、くらしき作陽大学でアンサンブルコンテストが行われます。本校からは「管打五重奏」と「管楽三重奏」の2チームが出場します。新チームとして初めての大会、落ち着いて頑張ってください。

【勝央町PTA 連合会研修会】

11月30日、親育ち応援プログラム松本春恵さんをファシリテーターとしてお招きし、町PTA連合会の研修会を行いました。「家庭でできるコミュニケーション力の育て方あいさつの町 勝央町を考える。」と題して、学校・地域・家庭でのあいさつを含めたコミュニケーションについて、それぞれの家庭での様子を交流しました。

【面接練習(3年)】

3年生の入学試験は、1月に入ると本格的にスタートします。11月より、出入り・言葉遣いなどの所作、志願理由、中学校で頑張ったことなど、一斉に面接練習をしてきました。練習を重ねるうちに受け答えがスムーズになることはもちろん、受験に向かう気持ちも高まってきているように感じます。明日から冬休みに入りますが、ご家庭でも面接練習も含め、進路に向けてのサポートをお願いします。

【ポストカードによる見守り】

教室棟2階に上がる階段の棚にポストカードを設置しています。これは、町内の方が、みんなの元気が出るように定期的に届けてくれています。(いつもありがとうございます。)11月は「頑張ったこと 知ってるよ」でした。たくさんの方の応援をエネルギーに頑張っていきましょう。

【勝央町一周駅伝大会】

12月10日、勝央町一周駅伝大会が行われました。本校からは、陸上部が3チーム、3年生有志が1チーム出場をしました。当日都合がつかない選手の代わりに、応援に来ていた3年生や自宅にいた1年生、そして本多先生も快く出場をし、4チームとも完走することができました。中学校男子の部は、3年生有志「受験生」が優勝しました。

